

ビジネス法学入門		講義	教授 吉田 一康
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200113

1. 授業のねらい・概要

ビジネスに関する法律の基本的な事項について、幅広く概略を理解することを目標とします。

社会では、アルバイトをしたり、将来、会社に就職する場合、労働法が関係します。商品を買ったり売ったりする取引は民法などが関係します。会社のお金を横領したなどという疑いをかけられた場合は、犯罪について規定している刑法などが関係します。このように、ビジネスに法律知識は必須であり、是非とも知っておかなければならない事項について学びます。また、2009年から開始された裁判員制度についても理解します。

2. 授業の進め方

- ① 50～60 分 配布するレジュメに従って、パワーポイントを使用して講義を行います。
- ② 30～40 分 配布する練習問題に回答して、その後、解答を行います。また、質問・意見があれば討議を行います。

3. 授業計画

1. 講義紹介	9. 民法（債権）
2. 法律とは（定義、強制力）	10. 商法・会社法
3. 憲法（ビジネス関係）	11. 労働法
4. 刑法（ビジネス関係）	12. スポーツ法（移籍規定など）
5. 刑事訴訟（逮捕から裁判まで）	13. スポーツ代理人（契約交渉など）
6. 裁判員制度	14. 知的財産法（特許権、実用新案権など）
7. 民法（総則）	15. 民事訴訟（訴えたり、訴えられたり）
8. 民法（物権）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各講義の内容に関する参考文献の該当箇所を読んでくること（1時間程度）。講義後、授業内容を復習して、レジュメ及び練習問題の解答を理解しておくこと（1時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

- ① 各講義で行う練習問題の後に、解答及び説明を行います。
- ② 期末試験の後に、解答を行います。

6. 授業における学修の到達目標

- ① 「六法」について、基本的な事項を理解できること。
- ② 議論がある法律問題について独自の価値観を形成すること。

7. 成績評価の方法・基準

評価は、上記6に示した学修の到達目標を、ルーブリック評価表を基に4段階評価（A80点以上 B70～79点 C60～69点 D（不可）60点未満）で採点します。ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明します。具体的には、積極性20%＋期末試験80%で評価します。積極性は、受講態度や積極性で評価して、客観的に認識できる遅刻、私語・居眠りに対する注意の場合、減点します。期末試験の受験資格は、全講義の3分の2以上に出席した者とし、出題範囲は全講義で、特に上記6①を主とする専門的知識の理解度の確認をする穴埋め問題と、同②に関する記述問題を出题します。

8. テキスト・参考文献

毎回、レジュメと練習問題を配布し、テキストは使用しませんので、特に購入する必要はありません。自習のための参考文献として下記のものを挙げます。

- ① 伊藤正巳・加藤一郎編『現代法学入門』（有斐閣双書，第4版，2005）1320 円
- ② 末川博編『法学入門』（有斐閣双書，第6版補訂版，2014）1650 円
- ③ 石川明編『フレームワーク法学入門』（不磨書房，2007）2640 円

9. 受講上の留意事項

私語・態度不良など他の受講者の迷惑となる行為や、遅刻・中途退席などの目立つ受講者については、評価を減点又は受講を制限します。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、不動産会社等における法務の実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。